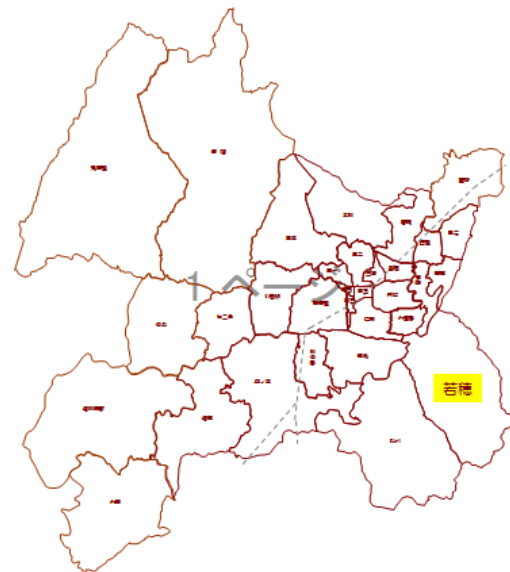




長野市の PFI導入の取組について

温泉温泉「湯～ぱれあ」
(長野市若穂綿内)



1 温湯温泉「湯～ぱれあ」の概要①(H15.3 PFI事業導入可能性調査より)

昭和50年～平成16年3月 前身施設 「温湯温泉市民センター」が別の場所にあり

事業目標	①「温泉施設」と「老人福祉施設」を併設し、幼児から高齢者まですべての市民が利用できる、低廉で良質な「健康とリフレッシュ」「ふれあい交流」のための場を創造する。 ②PFI事業方式を導入し、ライフサイクルコスト及び市の財政負担を縮減するとともに、その対価として最も価値のあるサービスの提供を図る。(VFMの最大化)
敷地条件	長野市若穂綿内字東山工業団地内 敷地面積 6,244.51m ²
地域指定	都市計画法：工業地域 建ぺい率：60% 容積率：200% 斜線制限あり
交通	上信越自動車道 須坂長野東ICより 約1km JR長野駅から約8km
新源泉	源泉深度：1,050m 湧出量：430リットル／分（自噴） 温度：約39.3℃ 泉質：アルカリ性単純温泉
温泉施設の位置づけ	予定している施設の規模、立地条件、老人福祉施設との併設の意義等から、温泉施設について「地域住民のための健康増進施設」に位置づけ

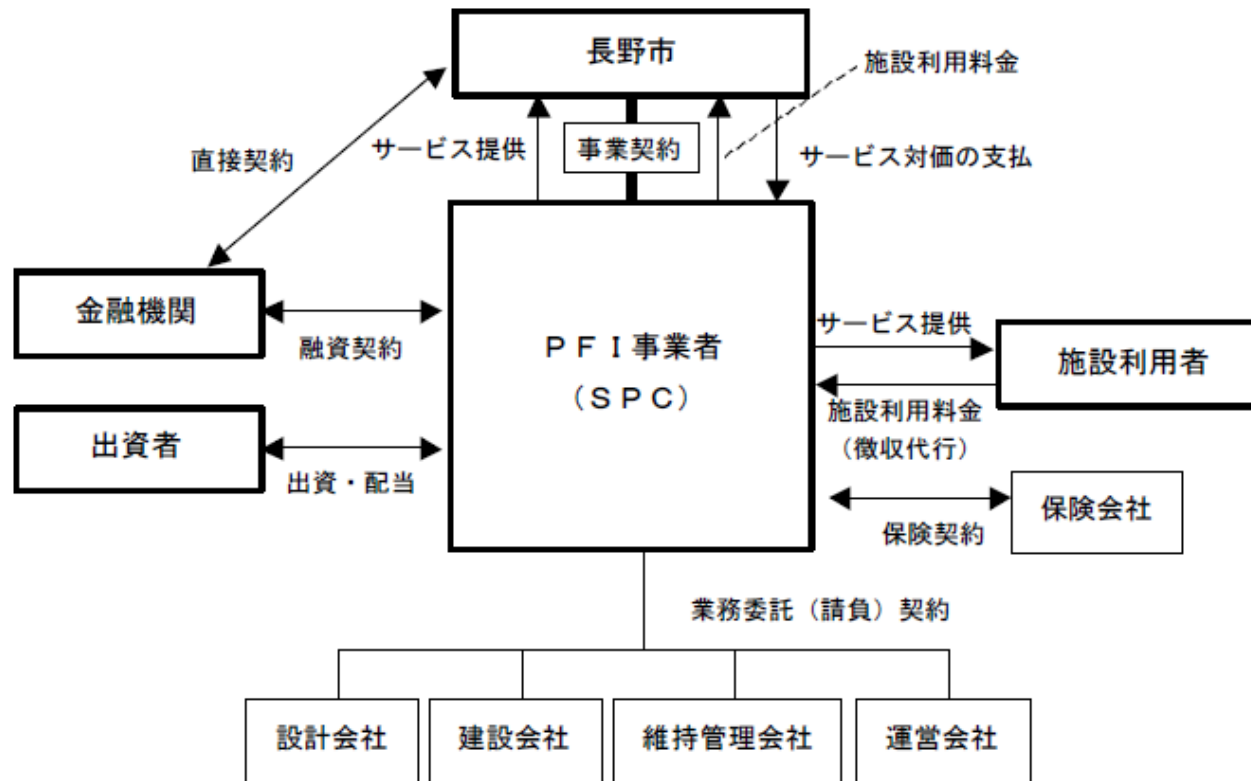
1 温湯温泉「湯～ぱれあ」の概要② (H15.3 PFI事業導入可能性調査より)

施設内容	延床面積:約2,000㎡ 駐車場:120台程度 ①温泉 ②健康増進(プール) ③休憩 ④老人福祉 ⑤管理共用 の五つのゾーンから構成される複合施設
営業内容	営業日数:365日(老人福祉ゾーン部分は土日の利用は貸館) 営業時間:9時～21時(老人福祉ゾーンは17時以降貸館) 老人福祉ゾーンは高齢者の利用と地域福祉活動の利用に限る
料金設定	温泉・健康増進ゾーン:大人500円、高齢者60才以上300円、 小学生250円、未就学児無料 和室:1室2時間 3,000円 老人福祉ゾーン:無料
健康増進プログラム	健康増進ゾーンで行うプログラムは公共事業として実施 事業者の提案を市が承諾すれば独立採算の講座も可能 公共事業としてのプログラムは高齢者対象とし民間施設と差別化
需要見込み	地域住民による利用を主体とした予測を行う 10km圏内人口に対する誘致率(周辺施設との比較分析)を設定し、地域住民の利用者数見込みを算出する
利用客数の見込み	利用客数＝本計画施設の10km圏人口×誘致率 ＝201,018×25% ＝50,254人/年 (約50000人/年)

2 温湯温泉「湯～ぱれあ」PFI導入の経過

平成8～9年	新源泉掘削	【随時】 地元協議 市議会協議
平成10年度	無料温泉スタンド設置	
平成11年度	新源泉利用検討委員会・同作業部会による検討（PFI法成立）	
平成12年度	温泉施設と老人福祉施設の併設方針決定	
平成13年度	地盤調査（12月：長野市PFI研究プロジェクトチーム報告書（一般論））	【随時】 地元協議 市議会協議
平成14年度	PFI事業導入可能性調査開始～平成15年3月調査報告	
平成15年度	9月 PFI方式による建設を決定 10月 庁内プロジェクトチーム設置（観光課＋企画、高齢者福祉、健康課） 1月～事業者選定審査委員会（アドバイザー選定）	
平成16年度	5月 事業者選定審査委員会（要求水準書の作成） 6月 PFI事業の債務負担行為の議決（限度額27億8千万円） 7月 特定事業選定・入札公告 10月 入札・入札提案書受付（指定管理者公募を兼ねる） 12月 事業者選定審査委員会（優秀提案者の選定）、落札事業者決定 2月 SPC「SPC健康福祉マネジメント株式会社」設立 3月 本契約締結（議会議決日）	
平成17年度	4月～事業者：施設建設 市：モニタリング契約ほか 12月 条例制定・指定管理者指定議決 3月 建設完了後、市へ所有権移転	
平成18年度	4月 供用開始	

3 「湯～ぱれあ」のSPCについて



事業主体
事業会社

SPC健康福祉マネジメント株式会社（PFI法に基づく特別目的会社H17.2.2設立）
 設計・工事管理 株式会社エーシーエ設計
 建設工事 滝澤建設株式会社
 屋外工事 日本道路株式会社
 運営業務 スポーツメディア株式会社、NPOつくばアクアライフ研究所
 温泉設備・保守 株式会社竹村製作所